

山形県議会議員 高橋 淳 (鶴岡市選挙区)

【令和6年度所属委員等】 ○議会運営委員会(副委員長) ※会派協議会含む

○農林水産常任委員会(委員)/○予算特別委員会(委員)/○デジタル化推進会議副座長 他

【高橋淳事務所】 〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1 TEL:(0235)26-8731/FAX:(0235)26-8732

E-mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com/→日頃の活動等はQRコードを参照ください(Facebook 及びホームページ)



山形県議会 9月補正予算総額

過去最大規模 697 億 2,000 万円

今回の補正予算案は、大雨による災害への対応として、社会基盤の復旧、被災者の生活再建支援等を実施するとともに、長引く物価高騰の影響を大きく受ける生活者・事業者への支援、さらには、高温下におけるさくらんぼの安定生産に向けた緊急支援など、本県が現在抱える様々な諸課題に対応するため編成したものであり、過去最大規模の補正予算額です。



予算特別委員会の総括質疑!

10月1日の予算特別委員会において、「**災害関連等、看護師確保(夜勤形態の2交代)、中高生等のスポーツ振興・予算、庄内圏域における水道広域化**」などに関して総括質疑(県政クラブ/高橋淳)を行ったところ。

なお、翌日に新聞掲載を頂いているところですが、スマートフォンなどから、県議会のインターネット録画放送が視聴できます。

また、今定例会では、「**県民の皆様から県議会をより身近なものに感じていただくため**」、**議場演奏会(山形交響楽団による弦楽合奏)**と議会見学会が開催されました(101名参加)。



そして、30日に**県議会避難訓練(写真/司会)**が実施されました。

庄内・最上地域の大雨災害!!

7月25日から26日にかけての大雨は、庄内地域や最上地域を中心に線状降水帯が2度発生。

大雨特別警報が7市町村に発表され、複数の観測地点で1日の降水量が過去最大となるなど、これまでに経験したことのない大雨となり、本県に甚大な被害をもたらしました。この大雨で、3名の方がお亡くなりになり、1,751棟の住家が被害を受けました。

お亡くなりになられた方々にご遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。



大雨等の災害対応について

災害発生以降、地元での現地調査、知事との災害現場対応をはじめ、農林水産常任委員会での現地調査、ボランティア支援活動などにもお伺いしたところですが、被災現場を間近で見ると心が痛む思いです。

市町村、消防、警察はもとより、自衛隊や政府の関係機関から迅速な対応をいただき、企業や団体、多くのボランティアの方々からも、被災者支援に多大なるお力添えをいただきましたことに、改めて、深く感謝申し上げます。

今後とも、関係の皆様方と連携し、被災者の生活再建、道路、河川、農地等の復旧、災害からの復興に全力を挙げて取り組んで参ります。



<9月補正予算の主なもの>

① 大雨災害対応予算(645億30百万円)

○災害復旧、災害救助、被災者の生活再建支援(応急仮設住宅の供与、災害見舞金、生活家電支援他)、中小企業等への支援(被災した中小企業・小規模事業者の施設・設備等の復旧経費への支援)、農林漁業者への支援(病虫害防除や堆肥等)、その他(宿泊施設支援のための割引クーポン発行、警察官へのライフジャケット等の整備他)



② 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援(8億41百万円)

○低所得世帯への冬季灯油購入代、子ども食堂等への物価高騰支援、フードバンク活動支援等、私立学校、医療機関、社会福祉施設の物価高騰への支援、中小企業・小規模事業者における適切な価格転嫁の促進、施設園芸農業者の燃油価格高騰、畜産農家の飼料価格高騰、漁業者の燃油・資材価格高騰、水産物大型冷蔵庫・製氷工場の電気料金、放流用種苗生産団体及び内水面養殖業者の飼料価格・電気料金、きのこ生産施設の光熱費上昇などの支援

③ 諸課題の対応等(17億18百万円)

○新規として、東北公益文科大学の公立化及び機能強化に係る準備経費、公立学校入学者選抜 Web 出願システムの導入など



④ 国庫内示に伴う公共事業の追加等(26億31百万円)

観光関連の要望書を県に提出!!

9月27日、鶴岡市から観光情報発信等に関する要望書を庄内総合支庁側(黒木産業経済部長)に手交いたしました。



当日は、私と鶴岡市副市長、観光部長、そし

て、ホテル八乙女の石川社長も出席しました。今後、県側に予算の調整を図る予定でいます。

また、JR東日本に対し、「**走行中の連結部分が外れた事案**」及び「**羽越本線の土砂崩落など**」もあり、一層の安全対策を求める要望書を10月7日に県側へ提出いたしました。

県内JAグループとの意見交換会

10月2日、県内各JAグループの関係者代表と県農林水産常任委員会メンバーにおいて、「**山形県農業・農村施策等に関して**」の要請書手交と活発な意見交換会が行われました。



櫛引地域の河川工事等の要望前進!

櫛引地域の自治会などからご要望等をいただいた角田川(西荒屋地域)については、私や県河川砂防課との立ち合いのもと、今年度に「**河川流下能力向上・持続化対策事業工事**」が行われることになりました。併せて、市側に要望をお願いした角田柳沢の道路舗装も行われました。(ˆ▽ˆ)/



県議会レポートあとながき

平穏な日常は、一夜の雨で失われました。失ったものを取り戻すには、簡単にいかない現実があります。住民に寄り添い、時には住民の希望となり、周囲を照らしながら歩んでいかなければなりません。能登半島豪雨もそうですが、政府は「**豊かな日本を再構築**」するため、政治への信頼回復を取り戻し、被災地や国民から「**納得と共感**」が得られるよう進んでもらいたいものです。